

沖縄県平和祈念資料館だより



公園内に大きな「わ」が出現！ 丘に登れば、海が展望できます。緑の中の「輪」を囲み、座ったり、寝転んだり、きっと平和な気分を感じることができるでしょう。周辺整備が整い次第、近日オープン予定です。

わ^(仮) — 緑の中の休憩舎 —

新型コロナウイルスに翻弄された1年余、緊急事態宣言が解除されると平和祈念公園では、キャンプ用のテントを張った家族連れが多く見られるようになりました。子供達は公園内の遊具で、自然の空気を思いっきり吸い込み、芝生の上を走り回っています。日光浴を楽しむ子供連れの若い夫婦、静かに読書をしている人、散歩やジョギングを楽しむ人、スポーツに興じる若者達、皆それぞれの週末を過ごしています。昨年に続き、清明祭や慰霊祭にも集まれなかった孫と久しぶりに集まって会食するお年寄り達の姿に、沖縄戦を生き抜き命のバトンを繋いだ誇りを感じるとともに、平和な日常の有り難さを感謝せずにはられません。

76年前、この摩文仁地域一帯は、艦砲射撃の攻撃を受け、地面の琉球石灰岩がむき出しになりました。体験者の証言によると「まるで雪が降ったように真っ白」だったそうです。現在では、想像もつかないほど緑につつまれ、いつも綺麗に刈られた芝生の中に建つ平和祈念資料館は、いつでも皆さまのご来館をお待ちしています。

第31回 「児童・生徒の平和メッセージ」 図画入選作品

特別支援の部



最優秀 ちばな はずみ
知花 羽純



優秀 うんてん せな
運天 聖那



優秀 ひが あいる
比嘉 愛琉

【令和3年度 第2回子ども・プロセス企画展】 太平洋戦争と沖縄県の学童疎開 —家族との再会を夢見て—

会期 2021(令和3)年11月10日(水)～2022(令和4)年2月20日(日)

場所 沖縄県平和祈念資料館 子ども・プロセス展示室「ひろば・ゆいまーる」



75年前の1946年10月から11月、学童疎開の人びとが九州から沖縄に次々と帰ってきました。待ち続けた子どもたちが帰郷し、各地では2年ぶりの親子の再会に喜びにわきました。しかし、家族の死を初めて知らされて、悲しみに沈む子どもの姿もありました。

今回の企画展「太平洋戦争と沖縄県の学童疎開 —家族との再会を夢見て—」は、1944年8月に開始され、沖縄から約6,100人の子どもたちが九州に避難した学童疎開について取り上げます。

なぜ、沖縄から九州まで大勢の子どもを避難させたのか？ 2年もの間、子どもたちはどんな生活をおくっていたのか？ みんな元気で沖縄に帰ってきたのか？ 子どもたちが体験した戦時下の学童疎開に焦点をあてることで、来館した小・中・高校生に関心を持ってもらい、戦争や平和についてより深く考える機会とします。

展示内容

- (1) 太平洋戦争と学童疎開
- (2) 沖縄県の学童疎開 【①学童疎開の開始、②対馬丸の遭難、③九州到着と受入状況、④疎開先での暮らし、⑤本土決戦準備と再疎開、⑥敗戦後の生活、⑦故郷への帰還】

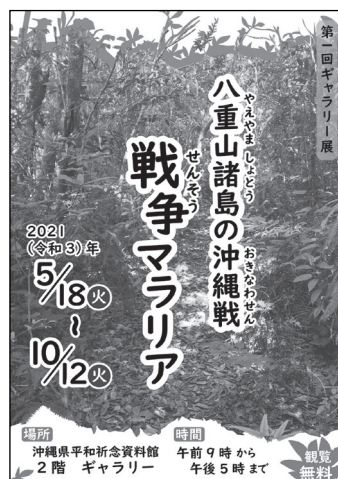
令和3年度 第1回 ギャラリー展

八重山諸島の沖縄戦 戦争マラリア

会期 2021(令和3)年5月18日(火)～10月12日(火)

沖縄戦時下の本島北部や宮古・八重山諸島では「マラリア」という感染症で多くの住民が亡くなりました。戦争末期、日本軍の命令により、マラリア有病地に強制的に移住させられました。その事によって、一般住民がマラリアに罹患し、犠牲になったことを「戦争マラリア」といいます。

今回のギャラリー展では、特に八重山諸島における「戦争マラリア」について、潮平正道さんが体験に基づき描いた絵画『絵が語る八重山の戦争』等を紹介しました。



観覧する親子

児童・生徒の 平和メッセージ展

戦没者の霊を慰め、平和を愛する心を育てるため、県内小・中・高校生から募集した「図画・作文・詩」を展示します。
図画は優良賞以上を、作文・詩は優秀賞以上をパネル展示します。

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の尊い命とかけがえのない文化遺産を失いました。戦後76年を経過した現在、この歴史的事実を風化させることなく次の世代に正しく継承していくために、児童・生徒が平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会をつくることを目的に、毎年、県内の児童・生徒を対象に実施しています。今年（令和3）年5月6日から5月19日まで募集を行ったところ、県内152校から図画部門1,114点、作文部門328点、詩の部門1,500点、合計2,942点の応募がありました。

入選者一覧（優良賞以上）

【 図画部門 入選者 】

小学校(低)の部《10名》		
最優秀賞	宮良 永悠	宮良小1年
優 秀 賞	屋比久 楽生	海星小2年
	石田 永燈	米須小1年
優 良 賞	上原 優菜	高嶺小3年
	米田 翼	海星小2年
	新里 竜也	北大東小3年
	坂元 慎太郎	海星小2年
	安藤 美唯	海星小2年
	照屋 晴市	米須小1年
	知念 由依	天久小2年
小学校(高)の部《11名》		
最優秀賞	青柳 伶	浦添小6年
優 秀 賞	大城 智紗都	小禄小6年
	森岡 花香	安波小6年
優 良 賞	浜名 凧	ゆたか小6年
	仲門 結風	喜屋武小4年
	金城 利知	百名小6年
	友利 俊介	城東小6年
	中村 美紗	真地小6年
	上原 妃乃	北谷第二小6年
	野底 璃晃	真地小6年
	小渡 花菜	山内小6年
中学校の部《10名》		
最優秀賞	仲栄真花	中城中2年
優 秀 賞	泉 結菜	玉城中2年
	細川 心優	小禄小3年
優 良 賞	仲村 隼	古蔵中2年
	長元 愛衣	浦添中3年
	上原 美春	西辺中2年
	小仙 梨陽	大里中2年
	與儀 佳音	伊良波中2年
	辺土名 稔葵	東江中3年
	平良 優依	潮平中2年
高等学校の部《10名》		
最優秀賞	前原 芽衣	那覇高2年
優 秀 賞	登川 結花	美来工科高2年
	多和田 藍莉	コザ高3年
優 良 賞	奥間 ゆず	開邦高1年
	與那原 葵	那覇高2年
	知名 葵衣	開邦高2年
	長嶺 綸子	真和志高3年
	藏當 真弘	名護高3年
	垣花 優那	那覇高2年
	島袋 莉子	開邦高3年
特別支援の部《7名》		
最優秀賞	知花 羽純	城東小6年
優 秀 賞	運天 聖那	伊良波小4年
	比嘉 愛琉	屋部小5年
優 良 賞	比嘉 夏奈子	浦添小6年
	池宮 輝	浦添小6年
	比嘉 尚	伊良波小4年
	新垣 結希斗	港川小5年

【 詩部門 入選者 】

小学校(低)の部《6名》		
最優秀賞	小木 曾 巡	宮良小2年
優 秀 賞	東嘉弥真光梅	宮良小2年
	江川 結芽	大浜小2年
優 良 賞	水谷 貫太	白浜小3年
	神里 あおら	平良第一小1年
	知念 由依	天久小2年
小学校(高)の部《8名》		
最優秀賞	次呂久 あさひ	登野城小4年
優 秀 賞	長澤 知穂	慶留間小6年
	大和 碧	沖縄アミークス小5年
優 良 賞	赤嶺 美桜	とよみ小6年
	砂川 うた	西辺小6年
	山城 ひめの	真壁小6年
	賀数 和心	兼城小6年
	當銘 愛叶	伊良波小6年
中学校の部《8名》		
最優秀賞	上原 美春	西辺中2年
優 秀 賞	宮城 莉子	開邦中2年
	仲里 すみれ	開邦中3年
	富村 友美子	首里中3年
優 良 賞	當山 桜子	昭和薬科大学附属中3年
	木代 香里	長嶺中2年
	大城 陽菜	長嶺中2年
	玉城 蒼	開邦中2年
高等学校の部《6名》		
最優秀賞	高原 マリア	那覇高3年
優 秀 賞	三留 伸子	首里高3年
	池原 輝飛	首里高3年
優 良 賞	池間 莉世	宮古高3年
	新垣 結音美	那覇西高3年
	藏當 翔也	名護高3年
特別支援の部《4名》		
最優秀賞	荻堂 盛韻	沖繩高等特別支援3年
優 秀 賞	宮平 優汰	沖繩高等特別支援1年
優 良 賞	伊禮 夢希	沖繩高等特別支援3年
	金元 風介	沖繩高等特別支援3年

【 作文部門 入選者 】

小学校(低)の部《1名》		
最優秀賞	知念 由依	天久小2年
優 秀 賞	該当者なし	
優 良 賞	該当者なし	
小学校(高)の部《4名》		
最優秀賞	禰 覇 柚希	識名小6年
優 秀 賞	伊志嶺 優月	識名小6年
優 良 賞	上間 光莉	百名小4年
	知念 咲希	豊見城小5年
中学校の部《8名》		
最優秀賞	城間 一華	伊良波中2年
優 秀 賞	柴田 勝	安岡中1年
	羽地 瑛麻	那覇中1年
	池村 俐音	高嶺中3年
優 良 賞	大城 菜々穂	開邦中3年
	上原 楓	糸満中2年
	糸数 結	那覇中2年
	亀谷 康太	糸満中3年
高等学校の部《6名》		
最優秀賞	重田 真妃	首里高2年
優 秀 賞	兼謝名 彩音	読谷高2年
	城間 優花	小禄高3年
優 良 賞	金城 陽詩	開邦高1年
	島袋 結衣	陽明高3年
	仲宗根 優月	首里高2年
特別支援の部《4名》		
最優秀賞	廣咲 輝龍	鏡が丘特別支援3年
優 秀 賞	上原 穂乃花	南風原高等支援1年
優 良 賞	仲里 佑	沖繩高等特別支援1年
	石川 恭悟	沖繩高等特別支援1年

※コロナ禍の中で、展示会が取りやめざるを得なかった会場もありますが、来る11月13日(土)には、当館平和祈念ホールにおいて、最優秀賞・優秀賞者の受賞式が開催される予定です。

みるく世の謳

宮古島市立西辺中学校 二年 上原 美春



12歳。
 初めて命の芽吹きを見た。
 生まれたばかりの姪は
 小さな胸を上下させ
 手足を一生懸命に動かし
 瞳に湖を閉じ込めて
 「おなかすいたよ」
 「オムツを替えて」と
 力一杯、声の限りに訴える

大きな泣き声をそっと抱き寄せられる今日は、
 平和だと思おう。
 赤ちゃんの泣き声を
 愛おしく思える今日は
 穏やかであると思う。

その可愛らしい重みを胸に抱き、
 6月の蒼天を仰いだ時
 一面の青を分断するセスナにのって
 私の思いは
 76年の時を超えていく

この空はきつと覚えていて
 母の子守唄が空襲警報に消された出来事を
 灯されたばかりの命が消されていく瞬間を
 吹き抜けるこの風は覚えていて
 うちなーぐちを取り上げられた沖縄を
 自らに混じった鉄の匂いを

踏みしめるこの土は覚えていて
 まだ幼さの残る手に、銃を握らされた少年がいた事を
 おかえりを聞くことなく散った父の最後の叫びを

私は知っている
 礎を撫でる皺の手が
 何度も拭ってきた涙

あなたは知っている
 あれは現実だったこと
 煌びやかなサンゴ礁の底に
 深く沈められたつらさ
 悲しみが存在することを

凜と立つガジュマルが言う
 忘れるな、本当にあったのだ
 暗くしめられた壕の中が
 憎しみで満たされた日が
 本当にあったのだ
 漆黒の空
 屍を避けて逃げた日が
 本当にあったのだ
 血色の海
 いくつもの生きるべき命の
 大きな鼓動が
 岩を打つ波にかき消され
 万歳と投げ打たれた日が
 本当にあったのだと

6月を彩る月桃が揺蕩う
 忘れないで、犠牲になつていい命など
 あつて良かったはずがない事を
 忘れないで、壊すのは、簡単だという事を
 もろく、危うく、だからこそ守るべき
 この暮らしを

忘れないで
 誰もが平和を祈っていた事を
 どうか忘れないで
 生きることの喜び
 あなたは生かされているのよと

いま摩文仁の丘に立ち
 私は歌いたい
 澄んだ酸素を肺いっぱいにとりこみ
 今日生きている喜びを震える声帯に感じて
 決意の声高らかに

みるく世ぬなうらば世や直れ※
 平和な世界は私たちがつくるのだ
 共に立つあなたに
 感じて欲しい
 滾る血潮に流れる先人の想い

歌いたい
 蒼穹へ響く癒しの歌
 そよぐ島風にのせて
 歌いたい
 平和な未来へ届く魂の歌

私たちが忘れないこと
 あの日の出来事を伝え続けること
 繰り返さないこと
 命の限り生きること
 決意の歌を
 歌いたい

いま摩文仁の丘に立ち
 あの真太陽まで届けと祈る
 みるく世ぬなうらば世や直れ
 平和な世がやってくる
 この世はきつと良くなっていくと
 繋がれ続けてきたバトン

素晴らしい未来へと
 信じ手渡されたバトン
 生きとし生けるすべての尊い命のバトン
 今、私たちの中にある

暗黒の過去を溶かすことなく
 あの過ちに再び身を投じることなく
 繋ぎ続けたい
 みるく世を創るのはここにいるわたし達だ

県内各地域で最優秀賞・優秀賞の作
 品をパネルにして展示会を開催しました。
 これらの作品は、学校等に貸出を行って
 おり平和学習に活用できます。



石垣市会場(八重山平和祈念館)
 2021年7月14日(水)~7月21日(水)



宮古島市会場(宮古島市未来創造センター)
 2021年7月29日(木)~8月3日(火)



那覇市会場(沖縄県立図書館)
 2021年10月1日(金)~10月11日(月)



▲ 上原美春「みるく世がふ」

【詩のコメント】
 姪が生まれたとき、とても可愛くてずっと子守
 をしていました。大きな声で泣いたり、周りの皆
 が笑顔であやしたりした時、ふと戦争中だったら、
 どうなっていたらどうかと考えるようになりました。

※宮古民謡「豊年の歌」の一節
 意味：「平和な世がやってきて、みんなの暮らしが
 良くなりますように」

【戦の語り部功労者パネル展 in 座間味島】移動展報告

会期 2020(令和2年)12月1日(火)～12月24日(木)

場所 慶良間諸島国立公園ビジターセンターさんごゆんたく館(座間味村阿嘉島)

沖縄戦において米軍が最初に上陸した地である、座間味村阿嘉島で移動展を開催しました。昨年、県は戦後75年の節目に県内各地で沖縄戦の実相や歴史の教訓を語り継ぐ75～109歳の戦争体験者男女118人に対して「戦の語り部功労者感謝状」を贈りました。

その後、座間味村出身者の方々の写真パネルや座間味村から収集された資料(小銃・薬品瓶・鉄線切りはさみ等)、証言映像を展示し、併せて座間味中学校の生徒を対象に平和講話を行いました。

また、これらの語り部功労者のパネルは、南風原町、那覇市、糸満市に貸し出され各地でパネル展が開催されました。



会場入口



平和講話(沖縄戦の実相とその特徴を説明)



平和学習の一貫として多くの児童・生徒が訪れました

戦後の戦争体験者証言映像公開に向けての取り組み

当館はこれまで戦争体験者の証言を映像収録し、展示室で上映したり、県内外の関係施設に貸出を行うなど、平和教育に役立ててきました。昨年度は、主に戦後の復興に焦点をあて、沖縄戦体験者や日本本土、台湾、満州、サイパン等、様々な地域で終戦を迎えられた方30名を対象に戦争体験や戦後の混乱期についてインタビュー形式で映像収録を行ってきました。今年度は、英語・中国語・韓国語・スペイン語などの多言語に翻訳し、今年度中にWEB公開する予定です。



戦後サイパンから引き揚げ、戦後沖縄の人権と教育について語る有銘政夫さん



戦後間もない田井等収容所の様子を語る島袋徳次郎さん

ウムイ 「平和への思い」発信・交流・継承事業の取り組み

平和への思い
発信・交流・継承事業
成果報告会

アジア地域の学生が平和を紡ぎ伝えるための歴史と平和について学び合う共同学習を行いました。報告会では自国の歴史や平和への思いを発信します。

令和3年度「平和への思い」発信・交流・継承事業成果報告会

主催 沖縄県 (主管：沖縄県平和祈念資料館)
協賛 琉球大学国際人 沖縄平和協力センター
モデレーター 新屋 誠氏 (沖縄キリスト教大学 教授)

11月27日 土曜日
沖縄空手会館 研修室
2:00pm - 4:30 pm (開場 1:30 pm)
※緊急事態宣言の発令等によって日程に変更がある場合があります

事前予約制 無料
会場予約制 無料

事前予約フォーム (開催日時: 11/20(日))
<https://forms.gle/3D82888888888888>

ライブ配信ページ (オンラインによる視聴可)
<https://www.youtube.com/watch?v=3D82888888888888>

お問い合わせ
沖縄平和協力センター Okinawa Peace Assistance Center (OPAC) ☎ 098 866 4635 yaguheppac.or.jp

報告会日時 2021(令和3)年11月27日(土)

場所 沖縄空手会館 研修室

本事業は、若い世代への戦争体験などの継承、アジア諸国との相互理解、平和構築のためのネットワーク形成を目指した、沖縄県の人材育成事業です。昨年に引き続き、アジア地域の学生が平和を紡ぎ伝えるため、11月22日から26日の日程で歴史と平和について学び合う共同学習を行います。

参加する学生は、日本国内では沖縄県、広島県、長崎県、海外からはカンボジア、韓国、台湾、ベトナムの7つの学生団体です。それぞれの地域に関連したテーマについて、学習したことを紹介し、アクションプランを発表後、参加者全員によるパネルディスカッションを行い、「平和への思い」の継承と今後の展望を話し合います。参加者全員による共同学習ですが、感染防止対策のため、海外からの皆さまは、オンラインによる参加を予定しています。

成果発表報告会を 2021 年11月27日 (土)、沖縄空手会館 研修室において開催します。

当日の様子は、後日インターネットで配信するほか、参加学生が作成した平和学習教材を WEB で公開する予定です。

【令和3年度 第20回特別企画展】 戦時体制下の国民生活 制限下の庶民の暮らし

令和3年度第20回特別企画展
戦時体制下の国民生活
制限下の庶民の暮らし

衣料切符
国庫債券
千人針(シャツ)
一銭硬貨
防空備巾
灯火管制カバー

令和3(2021)年
10月8日(金)～12月19日(日)

沖縄県平和祈念資料館 1階企画展示室 入場無料
9時～17時 (催し物開催のため16時半最終入室)
※新型コロナウイルス感染症状況によって開催が変更となる場合があります。
詳細は当館ホームページをご覧ください。

会期 2021(令和3)年10月8日(金)～12月19日(日)

場所 沖縄県平和祈念資料館 企画展示

今年度の企画展は、日中戦争がはじまった1937(昭和12)年から太平洋戦争終戦に至る1945(昭和20)年までの戦時体制下の国民生活がテーマです。戦時体制下では、外国に対して国威揚揚が図られるとともに、国民に対して戦意高揚の働きかけがありました。また、戦争の長期化の影響で物資が不足すると生活面での統制が強化されました。戦費捻出を目的とした国債等の購入の強制、金属の供出や勤労働員を強いられ、国民の生活はより厳しくなっていました。さらに非戦闘員である一般国民による防空活動が法制化され、防空壕の設置や空襲時の消火活動が国民に課せられました。展示では、当時を物語る現物資料やパネル、写真などを中心に紹介します。

小学校(低)の部



最優秀 みやら えいゆう
宮良 永悠



優秀 やびく らい
屋比久 楽生



優秀 いしだ えいと
石田 永燈

小学校(高)の部



最優秀 あおやぎ れい
青柳 伶



優秀 おおしろ ちさと
大城 智紗都



優秀 もりおか はなか
森岡 花香

中学校の部



最優秀 なかえま はな
仲栄 真花



優秀 いずみゆい な
泉 結菜



優秀 ほそかわ みゆう
細川 心優

高等学校の部



最優秀 まえはら めい
前原 芽衣



優秀 のぼりかわ ゆいか
登川 結花



優秀 たわだ あいり
多和田 藍莉